

下記のとおり報告します

世話人 小林 英司

2019年 5月例会 (5月 -3-) 諸先生を囲んで国際理解のための勉強会 -第26回-

2019年5月29日(水) 10:30~16:00 学習室

10:30~12:00 【千葉大学国際教養学部准教授 見城悌治 先生 講義 と意見交換】

テーマ 『留学生は近代日本で何を学んだのか -パート2- 』

(パート1では、日本で5指に入る千葉大の留学生受け入れ史を学習しました。今回パート2は、留学生が学内を出て日本国内で様々な見聞を深めた事例とキャンパス外の日本社会また日本人との「交流」を講義いただいた。外務省が助成金を付けて実施した中国留学生の見学旅行、および中国人留学生支援段階である「日華学会」が実施した臨海学校を具体的に取り上げる。また補論的に、この日華学会に「渋沢栄一」などの実業家が深く関わっていたことも紹介する。留学生はこうした機会を活かし、「何」を感じたのだろうか。また日本側は留学生に「何」を見せようとしたのだろうか。*****先生の序文より。パワーポイントスライド 50 ページ、レジュメ A4 16ページ

12:50~15:30 【元外務省・大使 中村義博 先生 と意見交換】

テーマ 『最新の国際情勢の分析と解析』 レジュメ A4 2ページ

歴代の元外務省・大使に対する週1回の現役外務省によるレクチャーが実施されています。中村大使はそれに参加されると同時に国際情報分析に関する独自の情報収集解析をされています。私どもグループ員からの事前の質問・考えにも十分な答えをいただきながら、最新の国際情勢の講義をいただきました。

参加者 合計31名 ①会員 26名 (女史7名, 男性19名), ②教員・先生 2名
③特別参加 2名, ④千葉大学生 1名



以上